サヨナラ負けも甲子園で舞った

原巨人 2年ぶり30度目 優勝

巨人が2年ぶり30度目のセ・リーグ優勝を決めた。マジック1で迎えた24日、阪神26回戦の7回表の攻撃中、ナゴヤドームでヤクルトが中日に敗れて優勝が確定した。試合は延長12回裏にサヨナラ負けし、史上初の「サヨナラ負け優勝」という珍事。しかし、シーズン途中から独走してのVに原辰徳監督（44）は胸を張って甲子園の宙を舞った。新人監督対決となる伊原西武との日本シリーズ（10月26日開幕、東京ドーム）で20度目の日本一を目指す。

日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS
9月24日　火曜日
2002年(平成14年)
PM11：30

写真＝阪神にサヨナラ負けを喫した後、マウンド付近で胴上げされる原監督　左上切り込み写真＝7回表巨人2死一塁、高橋由への死球をめぐってにらみあう両軍（ともに撮影・栗山尚久）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
巨人	24日＝甲子園	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	＝2
阪神		0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1X	＝3

nikkansports.com インターネット号外　購読お申し込みは24時間0120－81－4356